



「西郷どん」も学んだ郷中教育を受け継ぐ追手門学院小学校 創設者のふるさとで薩摩藩士ゆかりの剣術を体験

追手門学院小学校（大阪市中央区、校長：井上恵二）6年生145名は、本校創設者高島鞞之助誕生の地、鹿児島を訪ね、薩摩藩士ゆかりの野太刀自顕流の体験をします。

後に陸軍大臣などの要職を歴任した高島は西郷隆盛の隣町に生まれ薩摩藩の郷中教育を受けて育ちました。その郷中教育を取り入れ、日本人としての礼儀礼節を第一義とし、国際的視野をそなえたリーダー育成を目指して1888年に西日本最古の私立小学校として追手門学院小学校の前身となる大阪偕行社附属小学校を創設しました。

4月18日（水）から21日（土）までの3泊4日で九州への修学旅行を行ない、最終日21日（土）に、鹿児島市内にて野太刀自顕流の師範7名の演武を見学した後、剣道クラブの児童を中心に選ばれた児童22名が師範に手ほどきを受けながら「チェストー！」と気合の入った掛け声と共に、木刀で硬い横木を打ち叩きます。

高島も鍛錬した野太刀自顕流を実際に体験し、明治維新で多くの偉人を輩出した薩摩藩士の心に触れる大阪の小学生の姿をご取材頂けますようお願いいたします。

【ポイント】

- 大阪の小学生が剣術の体験を通して自校のルーツである薩摩藩士の心に触れる。
- 明治維新の偉人を多く輩出した薩摩藩の教育に触れ次世代のリーダーとしての心構えを学ぶ。

【野太刀自顕流体験】

日時：2018年4月21日（土）14:10から（1時間半程度）
会場：共研幼稚園（鹿児島市上之園町 20-17）

【追手門学院について】

1888年（明治21年）に当時の大阪鎮台司令官であった高島鞞之助の提唱により大阪偕行社附属小学校として創設。終戦後、学校法人追手門学院となり「独立自彊・社会有為」の教育理念のもと、中学校、高等学校、大学、幼稚園と発展し総合学園となり、今年130周年を迎える。

【高島鞞之助について】

1844年 現在の鹿児島市上之園町に生まれる。陸軍大臣・拓殖務大臣・枢密顧問官等を歴任。明治天皇の侍従を務めた際には西郷隆盛が推薦したといわれている。自宅は上智大学四谷キャンパスのクルトゥルハイム聖堂として現存。



鹿児島市内の生誕地に建つ記念碑

配付先：鹿児島県政記者クラブ、大阪教育記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 足立・谷ノ内